

小学校を子ども政策の基礎に

(質問) 放課後の小学校をどの子どもでもいられる居場所にして、手厚いセーフティネットを学校に形成し、「子育て、子育てのまち鈴鹿!」という形で子ども政策の基礎にする政策を実現してはどうか。

「新・放課後子ども総合プラン」で、国から学校施設の活用という方向が示されている

が、市の考えを問う。総合計画2023後期計画に位置付けて取り組みを進めてはどうか。

(答弁) 「新・放課後子ども総合プラン」においても同様の考え方が示され、社会的な要請との認識で取り組む必要があると考えている。

関係部局と調整を行い、放課後児童クラブや放課後子ども教室での余裕教室の活用について問題点の整理を行い、総合計画後期計画の記載に向けて検討したい。「新・放課後子ども総合プラン」の考え方に基づき、教育委員会も関係各課と歩調を合わせて検討したい。

鈴鹿アンリミテッドFCのJFL参入に関して

(質問) ①ホームゲーム主会場であるAGF鈴鹿陸上競技場のJFL事務局から求められた改善点は。②市内15試合、市外15試合が行われるリーグ戦はシティセールスの上からも大きなチャンスと考えるが、市の考えは。③市長が参画する「Jクラブ誕生とスタジアム建設を推進する県民会議」の状況は。

(答弁) ①試合開催にあたって、温水シャワーの設置を指摘され、給湯器の設置などを進めている。②新しい地域資源として活用できるように関係者と連携し、効果的な情報発信を行い、シビックプライドの醸成につなげていく。③スタジアム建設については、具体的に検討している状況にない。オール三重でのチームの創設については、既存クラブの基盤を大事にしてほしいという思いから、慎重かつ十分に議論されるべきと考えている。

その他の質問○津波避難施設整備事業補助制度について

合川保育所について

(質問) 合川保育所は昭和40年代に建築され、老朽化が著しい。建て替えの考えはあるか。

(答弁) 市内の公立保育所や公立幼稚園は、老朽化した建物も多くなってきており、合川保育所については、特に整備の必要性が高い第1次重点整備箇所として位置付けている。

合川保育所がある天栄中学校区の公立の栄

幼稚園は、近年、入園希望者が減少しており、鈴鹿市立幼稚園再編整備計画では、栄幼稚園と合川保育所を一体化し、天栄中学校区の中央部への移転を目指すこととしている。

今後の公立保育所・幼稚園の整備については、児童数の推移や利用者数の動向などを見極めていく必要があり、幼保一元化などの整備手法や地域全体の就学前施設のバランスも考慮しながら、本市における公共施設全体の計画の中で検討していきたい。

その他の質問○国体の準備について

市の非正規職員の処遇改善制度

(質問) 公共の職場にも非正規労働者が増え、官制ワーキングプアと呼ばれる社会問題となっている。議会や労働組合の働きかけもあって2020年4月に法改正となるが、本市の処遇改善の内容は。また、嘱託職員の賃上げや経験加算雇用は検討しているか。雇用の継続は。

(答弁) 本市の非常勤職員の実態を把握し、嘱託職員をフルタイムの会計年度任用職員、臨時職員をパートタイムの会計年度任用職員と位置付け、任用、勤務条件などを順次検討していく。制度改正後も雇用を継続し、フルタイムの会計年度任用職員は地方公務員共済制度への移行や期末手当の支給率の引き上げ、パートタイムの会計年度任用職員には距離に応じた通勤費の支給や忌引き休暇の新設などに対応したい。賃上げなどは、今後の課題としていく。

その他の質問○労働局との雇用対策協定について